

第6回 南澪会合唱団演奏会

1986. 3. 22(土) PM. 6:00

淀屋橋 朝日生命ホール



表紙画 河原 碧子



五つのOB男声合唱の集い

大阪男声合唱団、名古屋合唱団、コールアカデミー(東大OB)、六甲男声合唱団、フルマーティクワ

ごあいさつ

7年前に十数年ぶりに復活して以来隔年に開くことが定着した南瀧会合唱団の演奏会が今宵第6回を迎える運びとなりました。

母校大阪市立大学学長木村英一先生、年来の恩師加藤直四郎先生をはじめ、平素から暖かいご支援、ご指導を忝なくいたしております。関係者並びにご来聴の皆様方に対し、心から深謝の念を捧げます。

私たちは、この演奏会をはじめ毎年定例の五大学OB男声合唱の夕べ、母校創立記念音楽祭その他のステージに、また、それらの催しに向けての練習にと、忙しい仕事のかたわら、慌しいスケジュールに追われています。それについて最大の悩みは、メンバー全員が月2回の練習に揃うことがかなわず、演奏会の当日になってやっと出演者の顔ぶれ(声)が揃うのが現状であるということです。しかし、母校でのグリー活動を通じて男声合唱の魅力にとりつかれたことが機縁となっての団員の連帯感と、合唱団活動に没頭するときの充実感とは、私たちの日常生活のうえで何ものにも代えがたい大きな糧となっています。小人数・高年齢層のハンディーを情熱と経験でカバーし、合唱の深奥を追求

することを課題として、努力を重ねています。

昨年は、南瀧会の母体である大阪市立大学グリークラブが、創立60周年のいわば還暦に当る意義ある節目を印しました。南瀧会もまた、グリークラブの歴史とともに消長の年輪を重ねて今日に至りましたが、本日の演奏会は、この蓄積された伝統のうえに立って、新しい飛躍に向けての原点にしたいと念じています。

今回もまた、「みおぎ会」に賛助出演をお願いいたしましたところ、快くお引き受けくださいました。数年前から専任指揮者の指導で上達と共に著しいとの専らの評判であり、いつまでも若さを失わず、華やいだ雰囲気で頑張っておられるることは、喜ばしい限りであります。松平季子、古山淑子ご両名のご出演とともに、本日もひときわ彩を添えていただけるものと期待し、ご協賛に厚く御礼申し上げます。

今宵は、どうか最後までお楽しみいただき、皆様方のお心に訴える何かを感じとてくださいますれば、望外の幸せに存じます。今後とも一層のご声援を賜りますようお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

南瀧会合唱団 団長 上田 稔

大阪市立大学

学長 木村 英一

創立106周年を迎える大阪市立大学の春の祭典、第6回南瀧会合唱団の演奏会開催を心よりおよろこび申し上げます。

美しいハーモニーで心温まる本学のファミリーコンサート、本年の曲目は、ロシア民謡、ギリシャ正教聖歌等で、日頃積み重ねた練習の成果を御来聴の皆様にお届け致し、お楽しみ戴けることと期待致します。

歌声は、古来天使のささやきと愛され、不思議な力をもち、歓びは増幅し、悲しみは慰め、困難や失意のどん底ですら、希望と勇気のともしづを点じてくれるものです。

流れ去った昔も、歌声で甦り、心は一つにとけ合い、美しい合唱は、もうもろの憂さを拭い去ります。

この歌声が、御来聴の皆様の御満足と、OBの諸先輩には青春の血潮を甦らせて不老長寿のよすがとなり、後に続く若人には洋々たる前途のみおつくしとなりますよう、御成功をお祈り致します。

大阪府合唱連盟

会長 加藤直四郎

南瀧会の定期演奏会も、もう6回目を迎えたかと思うと、その速さに驚くと共に、年々の御努力の結果が、今日の御成長を見たことを心からお慶び申し上げます。

合唱音楽の歴史は教会から発生して居り、各地の合唱団の曲目中にも、教会音楽が取り入れられて居ますが、その多くはローマを中心とする西方教会のものであり、ギリシャを通じて帝政ロシアで開花した東方正教会の聖歌を聞くことは稀です。従って、大作曲家による数々の聖歌の名曲が、書庫に眠っている状態を誠に惜しく思います。

南瀧会が早くからこの点に注目され、この度の演奏会にもその一端を紹介されたことは、意義深いこととその御覧察を尊く思います。

又、これとは対照的なロシヤ民謡の素朴なハーモニーも、昔の人達の生活実感として、聞く人の心に響くでしょう。

又、南弘明作曲の「月下の一群」にいどまれた御熱意に対しても、長い坂道をじりじりと上られるような芯の強さを感じ、頭の下る思いが致します。

今年も「みおぎ会」の賛助出演を得て、混声での合同合唱を持たれ、全体のステージへの変化

と、ロマンへの心と、感動の迫力を盛られた巧みなプログラミングには、聴衆の皆様の感動の高まりを感じます。

当日の御成功を心から御期待申し上げると共に、一層の御奮闘と御活躍を祈り上げます。

A・N・C・O・Rの会本年幹事

六甲男声合唱団 渡辺 政雄

アルマ・マータ(京大OB)のA、南瀧会(市大OB)のN、コールアカデミー(東大OB)のC、大阪男声(阪大OB)のO、そして六甲男声(神大OB)のR、それぞれを集めて「A・N・C・O・R(アンコール)の会」という、最近では珍しい男声合唱ばかりの集いがあります。

毎年5月に楽しいコンサートを開いていますが、そのA・N・C・O・Rの会創設の発起人となつたのが、南瀧会合唱団の上田氏です。以後、年に何回かのマネージャー会議に、今西氏、小関氏など、それぞれ個性豊かなお人柄を持った方がご出席になり、会のスムーズな運営と存続に大きく貢献してくださっています。

A・N・C・O・Rの会が、(アンコールというよりはアルコールの会ではないか…との蔭の声も含めて)、なんとか今年6回目を迎えることができるのも、南瀧会合唱団のみなさまのおかげだと思います。

その南瀧会合唱団の活動で、常に感心させられるのが、この定期演奏会です。

なにしろ社会人というものは、とかく忙しい。ペイペイの時代は上役の目が光っていて、6時ごろ会社を出ようものなら、直接文句をいわれないまでも、ジロリとにらまれる。やっと自分がその上役になれたら、今度は責任感とやらがついてまわって、自分の時間がとれなくなる。そんな中で、ほとんど毎年のようにコンサートを開くのですから大変です。しかも3ステージです。「ほんまにようやる……」。これだけでも表彰にあたいします。

マネージャー会議の後でどこかへ寄っても、南瀧会の人は芸達者が揃っています。ポピュラーでもジャズでも演歌でもとレパートリーも広い。いろいろ余裕があるんです。まあ人生の達人ばかりだといえるでしょうね。

このような余裕を大切に、これからも南瀧会らしさを失わず、A・N・C・O・Rの会のため、いやもっと大きく、男の生きがいのためにがんばってほしいと思います。

PROGRAMME

Stage1. ロシア民謡

白 樺
夕 の 鐘
12人の盗賊
緋色のサラファン
行 商 人
ステンカ・ラージン

指揮 今西 弘一

Stage2. 「みおぎ会」

指揮 松平 季子
ピアノ 片桐 千歳

女声合唱組曲「遙かな歩み」

- 1 機 織
2 櫛
3 花 野

村上 博子 作詞
高田 三郎 作曲

Stage3. 合同合唱

指揮 今西 弘一
ピアノ 谷岡 理恵

独唱 ソプラノ 松平 季子

メゾ・ソプラノ 古山 淑子

オッフェンバック 作曲

津川 主一 訳詩

堀内 敬三 訳詩

津川 主一 編曲

歌劇「ホフマン物語」から

ホフマンの舟唄

美しく青きドナウ

INTERMISSION

Stage4. 一フランスの詩による男声合唱曲集—

指揮 今西 弘一

「月下の一群」

ピアノ 谷岡 理恵

- I 小 曲 (フィリップ・シャヴァネックス作詩)
II 輪踊り (ポール・フォール作詩)
III 人の言うことを信じるな (フランシス・ジャム作詩)
IV 海 よ (アンドレ・スピール作詩)
V 秋の歌 (ポール・ヴェルレーヌ作詩)

堀口 大学 訳詩

南 弘明 作曲

Stage5. ギリシャ正教聖歌

指揮 小関 光男

ファチエエフ 作曲

悪人の謀 チャイコフスキイ 作曲

ゴスボジボミルイ 齋藤 佐和 編曲

シオンの神を讃美す 歌をもて我が神の御名を讃めたたえん

(第29コンチェルト) ポルトニアンスキイ 作曲

ムノガヤレータ 加藤 直四郎 編曲

曲目解説

混声合唱

「ホフマンの舟唄」

オッフェンバックの傑作の一つである歌劇「ホフマン物語」第2幕のヴェニスの幻想的な場面で歌われる曲です。

「美しく青きドナウ」

ワルツ王、ヨハン・シュトラウス2世の傑作の一つで、オーケストラでは皆さまおなじみの曲。今夜、演奏するのはこの原曲を混声合唱とピアノのために編曲されたものです。このワルツには終結部に長いコーダがついていますが、合唱の場合は、そのコーダをはぶいて一気に終ります。

「遙かな歩み」 (女声合唱組曲)

〈機織る星〉 眼を閉じれば外界は光る繭のよう。ひとつの星を恋いながら人の世の娘のために、織女は、きょうも定めの絹を織る。

〈櫛〉 美しいものを髪の中心にさして、心も装いもぴったりときめる“櫛は女のいのち”若い母の丸髷を飾った櫛、朱色の櫛を心にたしかめ、たしかめ髪に挿す。

〈花野〉 祖母たちが唱ったいのちの歌をうたいながら花野を歩む、美しいものを求めて遙かな歩みをつづけるのだ。

曲目解説

ロシア民謡

合唱曲としてとりあげられるロシア民謡の形態は、15世紀頃、ドン河流域に住みついたコサックの生活の中に生まれたものといわれています。広大な、荒々しい原野の中で、生活の苦しみ、よろこびが、それまでの宗教的な多声合唱の中に、会話風に、物語風にとり入れられ、歌い上げられて、ロシア民謡の母体となっていましたといわれています。

長い厳しい冬の歌、早春の太陽を浴び、緑の牧場で唱う踊りの歌、そして、暴政に苦しんだ民族の長い歴史が物語となって歌い込まれています。

私達は学生時代、ロシア民謡の合唱において、初めて男声合唱の魅力を知り、人間の生の声のハーモニーのすばらしさを知り得たと思っています。そこには歴史の違い、民族の違いがあるのでしょうが、私達が心の底で感じ、飾らない生の声で合唱するとき、国、民族、歴史を超えた人類共通の音楽の喜びが、私達のものになるのではないかでしょうか。

今夜は、日本の男声合唱の歴史の中でも古い伝統のあるこのロシア民謡の中から、皆さまもよくご存じの6曲をとり上げ、最初にロシア民謡と出会った、あの新鮮な気持で歌いたいと思います。

「月下の一群」

この曲集は、昭和52年、広島市の崇徳高校グリークラブの委嘱により、堀口大学の名訳になるフランスの訳詩集の中から、作曲者の感度特に敏感に反応した5つの詩を選んで作曲された男声合唱曲集です。

いづれも青年らしい豊かな感受性、想像力に富んだもので、すばらしい青春を謳い上げています。

なお、この曲集の第Ⅲ曲は、60年度の全日本合唱コンクール・男声合唱の部の課題曲の一つに選ばれたものです。

表紙絵 河原碧子先生が、今回も南濱会合唱団のために、新しく絵筆をとってくださいました。
ご好意に厚く御礼申し上げます。

ギリシャ正教聖歌

ギリシャ正教会は、ギリシャを中心とした教会であります。そのちロシア皇室の特別庇護のもとにロシアで発展しました。正教会では樂器の使用が禁止されていましたので、儀式において祈りの言葉がモテット（経文歌）風に、すべてがア・カペラで、実に厳粛に、かつすばらしく各々の聖歌に表現されております。このような聖歌は、ほとんどの作曲家が競って作曲し、それが各自所属教区の聖堂において演奏されるのを、最高の名誉としたといわれています。

1 悪人の謀(はかりごと)

一土曜の夜、ミサで2番目に歌われるもの

幸いなるかな アリルイヤ

悪人のはかりごとに行かず

罪人のみちにたたず

罪人のみちにたたざる人は

幸いなり アリルイヤ

主は義人のみちを知る

悪人のみちは滅びん アリルイヤ

畏れて 主につとめよ

おののいでその前に歎べよ アリルイヤ

2 ゴスボジボミルイ

(主よあわれみ給え)

3 シオンの神を讃美す

4 歌をもて我が神の御名を讃めたたえん

(第29コンツェルト)

コンツェルトは、儀式とは直接の関係なしに、神を讃える歌を聖書の詩篇から選んで作曲されたものです。ボルトニヤンスキイはこれを聖歌曲の最大の形式として用い、数樂章をそなえた四声コンツェルトを35曲書いています。本日は、日曜日の祈りの終結前に歌われる第29コンツェルトを演奏します。

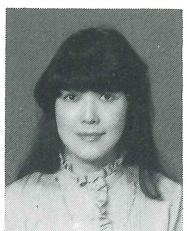
5 ムノガヤレータ

(祝いの歌、長寿を祈る歌)

PROFILE



まつだいら としこ
松平 季子 (ソプラノ)



こやま よしこ
古山 淑子 (メゾ・ソプラノ)

大阪音楽大学専攻科修了。斎木幸子、木村絹子の各氏に師事。ミュンヘンに留学、ワーレンフィッシャーに師事。東ドイツ、オーストリア各地で歌曲のコンサートに出演。音楽劇のソリストとしてパリ公演に招かれ、好評を博す。74年、84年大阪においてジョイントリサイタル開催。喜歌劇樂友協会公演「こうもり」のロザリンデ、「ボッカチヨ」のベアトリーチェを演じ好評を博す。日本演奏連盟会員、「みおぎ会」指揮者、喜歌劇樂友協会会員。

みおぎ会

「みおぎ会」は、大阪市立大学女声合唱団のOGによって結成した団体で、大阪市章の「みおつくし」と同義語の瀧木一みおぎーを会の名称としました。メンバーの多くは、仕事を持ち1人2役・3役の忙しい女性で、彼女の貴重な「家事日」である土曜・日曜日をさいて練習をしています。そんな状態ですから、コーラスが終ったら旧交を温める暇もなく、「くもの子」を散らすがごとく北へ南へ、東へ西へと、夕食の「おかげ」を考えながら家路を急ぐようなりさまで、もう少し話し合う時間が持てたらハーモニーにもプラスになるのに…といつも残念に思いながらも、口に出さなくとも互いに気持のわかる縦につながる集団の強さで、運営などは非常にスムーズに、簡潔に運ばれているのが特色です。これでもう少しメンバーが欲しい！というのが最大の悩みであります。

42年卒の人を最後に、現役の女声コーラスは姿を消しました。だから、「後に続け！」という言葉は、私たちには存在しません。そして、メンバーが少ないので、「欠席」ということの重みがズシン！とくるのも、このグループの特色です。それでも、学生時代ともに唱った仲間でまたコーラスをと、その日のくるのを待ってきたのだから、どんなにハンディーが多くても「今」を精いっぱいに唱いたいというのが、みんなの願いなのです。



●指揮者

松平 季子

●ピアノ

片桐 千歳

大阪芸術大学ピアノ科卒業
武井博子氏に師事

●ソプラノ

北野 敦子

清水 美子

綾部 多美

一井 裕美

米田 和代

中野 淳子

高井 令子

●メゾソプラノ

高橋 和子

池田 征子

中阪 緑

福岡 明美

松永 道子

菅生 久美子

浅野 真智子

椋田 静江

●アルト

山崎 瞳子

三原磨智子

北村 富美子

岸田 政子

野口 文子

村山 アヤメ

宮道 静枝

岡田 祥子

黒沢 公子

南瀧会合唱団

南瀧会合唱団は、大阪高商・大阪商大・大阪市大グリークラブのO B 500有余名で構成される「南瀧会」を母体とし、その会員のうち常時合唱活動に参加できるメンバーで組織している団体です。

大阪市大グリークラブは昨年、創立60周年を迎えましたが、南瀧会もまた、ともにその歴史を刻んできましたことになります。振り返ってみると、南瀧会の第1回演奏会が開かれたのは、昭和16年のことでした。その後昭和30年頃から毎年、現役グリークラブの定期演奏会に賛助出演し、また、昭和39年には第2回の演奏会が行われ、有志による活動が続けられていました。

合唱団としての体制に再編されたのは、昭和54年のことで、その翌年に母校が建学100周年を迎えるのを契機に南瀧会組織の結束をはかり、それを母体とする合唱団として再発足し、それ以降は恒常に活動を続けています。昭和55年2月には十数年ぶりに演奏会(第3回)を復活し、その後隔年開催が定着して、本日第6回を迎えるに至りました。このほか定例的な活動としては、昭和56年から毎年5月に開催されている“五つのO B男声合唱の夕べ”(京大・神大・東大・大阪市大・阪大)、昭和55年11月母校建学100周年記念として南瀧会合唱団が企画し軸になって行われた市民参加の音楽祭以来、毎年ホームカミングデーとして開催されている母校創立記念祭などの定期的行事や、そのほか臨時のステージに参加し、多忙なスケジュールをこなしています。

現在、30名足らずの合唱団ですが、転勤や家庭の事情などで絶えず団員の異動があり、30名の壁を破ることはなかなか容易ではありません。小人数でのまとまりも一つのメリットではありますが、男声合唱の重厚さを求めるために、40名への拡充を悲願としています。また、団員の平均年齢は、47~48歳といったところでしょうか、まずは油の乗り切った年代といえなくもありませんが、年々の高齢化を防ぐため、若い団員の加入を増やすことも課題の一つとしています。

何はともあれ、南瀧会の会員の誰もがいつでも歌いに来ることができる家族的な雰囲気の醸成に心掛け、メンバー相互のメンタルハーモニーと合唱に対する情熱とで、今後も歌い続けていく所存です。

団長	上田 稔
幹事長	小関 光男
総務	石井 欽三
	赤崎 弘平
涉外	桂 貞夫
会計	斎藤 三朗
幹事	大橋 邦宏
	新 栄一郎
	宮崎 靖
	古谷 裕之
指揮者	今西 弘一
	小関 光男

連絡先
06-211-6012
上田 稔

次回ステージ予定
“第6回
五つのO B男声合唱の夕べ”
1986.5.17(土) 午後6時
森の宮ピロティホール



ピアノ 谷岡 理恵
1985年3月 相愛大学音楽部ピアノ専攻卒業、同年4月同大学研究科入学。
読売新聞社主催 第55回新人演奏会に出演。1986年3月 研究科修了。
向井滋子氏に師事。

南瀧会合唱団団員名簿			
第1テノール	第2テノール	バリトン	バス
佐藤 晴一(23高商)	今西 弘一(32経)	西田 博光(24高商)	松館 弘(23高商)
中島 圭意(28商)	村上 勇(33経)	石井 欽三(26高商)	山縣 一晃(27学部)
上柴 茂(32理工)	熊代 厚生(37法)	上田 稔(29文)	桂 貞夫(34法)
斎藤 三朗(34経)	大橋 邦宏(38理)	谷岡 昇(32理工)	寺前 芳博(34文)
尾崎 納(44商)	今村 肇(39法)	山内 庄作(32商)	井上 知三(37商)
新 栄一郎(46商)	大田 徳隆(42経)	横田 卓郎(35経)	小関 光男(38経)
		米田 直也(35法)	赤崎 弘平(44工)
		宮崎 靖(57商)	古谷 裕之(57商)

伸銅品・アルミニウム・ステンレス

—素材から加工まで—

非鉄金属専門商社 **山内金属株式会社**

本社 〒532 大阪市西区北堀江3-8-6 TEL 532-7001
FAX 532-7009

事業所 東大阪・福井

新栄文化教室

代表者 新 栄一郎

浪速区難波中3丁目6-5 新栄ビル3階(大阪府立体育館西側)

TEL (06)647-6308

デザイン・美術工芸教育

グラフィック・編集・インテリア・彫金工芸・モード

20余年



夢 教育

プロを育てる名門校

河原デザインスクール

大阪市北区中之島3-2-4 朝日新聞ビル

TEL (06) 203-4754(代表)

KAWAHARA DESIGN SCHOOL

原点・オールド

サンタリーオールドは、日本のウイスキーの代表作として愛されています。ストレート、オンザロック、水割り。どのような飲まれ方をしても、その円熟した味わいや香りが崩れず、毅然としているからでしょう。初めてウイスキーを手にするひどが、ウイスキーのあるべき型を知るによく、様々に酒の経験を重ねてきた方が、安んじてそのグラスを委ねるよし。まさにオールドは、ウイスキーの原点。愛酒家が快く頷く、確かに「黒丸」です。

サンタリーオールド
製造・販売
サンタリー株式会社

**ブライトリーカー・ナイト
イン**

今年から洒落れたビデオ・システムを
プラス……映像の中の主役も
“あなた”です

ミュージックラウンジ **ロココ**
大阪市南区八幡町12番地 ニタヤビル2F

☎ (06) 213-9011・7602

PLASTICS

・真空成形・圧空成形・プレス成形・精密板成形・押出成形・射出成形・超塑性合金成形(SPZ・SPA等)・FRA(強化アクリル樹脂)

**製品開発・
設計・生産の
3つのレベルで
お受けします。**

東プラは永年の経験と実績によって得たセールスエンジニアリングのノウハウとニーズに対応した生産設備をフルに活用して、時代の要請に取組んでおります。射出成形、熱成形の技術はもとより、FRA(強化アクリル樹脂)、超塑性合金成形(SPZ・SPA等)などの東プラ独自の技術は常に業界をリードし、また豊富な設備機能によって、お求めの製品づくりをすすめることができます。

TOPLA

代表取締役社長 中川泰治
(昭和19年学部卒)

東プラ株式会社

〒567 大阪府茨木市五日市1-7-27 ㈹(0726)26-3401
営業所 / 大阪・東京

東プラグループ
東洋樹脂株式会社
群馬県太田市
竜舞プラスチック株式会社
群馬県太田市

